

「FLY ECO 2020」の目標と進捗

項目	目標	2020年3月期の実績
地球温暖化対策	航空機燃料によるCO2排出量の低減	
	■単位あたり目標 有償輸送トンキロ当たりCO2排出量（国内線・国際線合計）を2021年3月期までに、2006年3月期比で20%削減	・2020年3月期は、2006年3月期比で20%削減 参考：排出総量1154万トン（前期比微増） 有償輸送トンキロ当たり1.01まで削減（目標値1.03）
	■総量目標 国内線2013年3月期～2021年3月期のCO2排出量を年平均440万トン以内に抑制	・400万トンに抑制
	事業所使用エネルギーの削減	
■全事業所の総エネルギー消費量 年1%削減（改正省エネルギー法への対応）	・原単位当たりで前期比9.1%削減	
代替航空燃料の導入	■2021年3月期までの本格使用開始の検討	
	・2019年6月 米国LanzaTech社と2021年以降に米国で製造・供給を予定する代替燃料・SAF(Sustainable Aviation Fuel)の購入を合意。 ・2019年10月 ボーイング777新造機のデリバリー飛行でLanzaTech社が製造したSAFを購入 ・NEDOプロジェクト 国産SAF製造に向けた検討実施（LanzaTec社などと共同）	
大気汚染対策	航空機の排出ガス基準適合	
	■航空機（リース機を含む）の全機ICAO排出ガス基準適合	全機適合
	低公害車の導入	
■低公害車の積極導入と、バイオ燃料使用の検討	・低公害・低燃費車(*)をグループ全社の自動車全保有数4863台中、1841台導入（全体の37.9%） ※燃料電池車、電気自動車、ハイブリッド車、排ガス規制適合車	
騒音対策	■リース機を含め全機ICAO騒音基準チャプター4に適合	全機適合
省資源化の促進	■廃棄物削減、営業用紙含めペーパーレスの推進	
	■機内誌などのクローズド・リサイクルをはじめとする3R活動の促進	・廃棄物総量： 32.6千トン（前期比5%削減） ・産業廃棄物： 3.2千トン（前期比±0%） 一般廃棄物・産業廃棄物共に減少 ・紙類の総使用量：3.1千トン 前期より0.1千トン減少 グループ機内誌や営業パンフレット類の大幅な部数削減、省資源活動により削減に努めた
環境保全活動	■地域・社会に新たな価値を提供し、貢献できる持続可能な森づくり	
	■「チーム美らサング」によるサング再生プロジェクトを通じた環境啓発活動の強化	・宮城県南三陸町「ANAこころの森」グループ社員ボランティアによる森づくり活動の実施 年3回（5月2回、10月1回）、5月にはBoeing社とコラボで活動（毎年継続） ・東日本大震災の津波被害を受けた宮城県名取市「オイスカ海岸林再生プロジェクト」に参加 年2回（6月、9月）、グループ社員ボランティアの参加 ANAマイレージクラブからの寄付継続 「環境サポートマイル」からの寄付（71万7000円） ・「チーム美らサング」植え付けイベント開催 年5回（5、6、10、11月）参加者317人、延参加者3,799人、累計植え付け本数13,145本 6月の植え付けイベントは台風の影響により中止、産卵イベントは昨年から引き続き実施 ・ANAマイレージクラブからの寄付を継続 「環境サポートマイル」苗木の寄付（250本） ANAダイヤモンド会員によるサングの苗木の寄付（1340本）